

| 履 歴 書 | | | |
|--|---|-------|---------------|
| フリガナ 氏 名 | フクオカ タロウ 福岡 太郎 | 現 職 名 | 福岡大学 非常勤講師 |
| 生年月日(年齢) | 昭和 年 月 日 (満 歳) 記入時の満年齢を括弧付きで記載。 | | |
| 現 住 所 | 〒810-0023 福岡市... TEL (092) 111-1111 E-mail 電話番号、メールアドレスも記載。 | | |
| 学 歴 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 昭和 60 年 3 月 昭和 61 年 9 月 昭和 62 年 4 月 平成 2 年 3 月 平成 7 年 4 月 平成 8 年 3 月 和暦で明記(左揃え)。 | 福岡県立福岡高等学校卒業 高校卒業から記入してください。 ロンドン大学人文学部英語学科留学 (昭和 62 年 1 月 31 日まで) 福岡大学大学文学部英語学科入学 学部・学科も明記。 福岡大学大学文学部英語学科卒業 学士(文学)「同上」とは書かず、繰り返し明記。 福岡大学大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻修士課程入学 専攻も明記。 福岡大学大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻修士課程修了 修士(文学) 高校卒業から記載してください。大学以降では入学と卒業(修了)は行を改め、卒業(修了)行には()付きで学位名も記載してください。大学は、学部・学科名(学科名がない場合は、課程名又は専攻名)まで、大学院は研究科名・課程名、専攻名までを記載。学生時に留学した場合は学歴として記載してください。 | | |
| 学 位 ・ 免 許 等 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 平成 2 年 6 月 平成 2 年 6 月 平成 8 年 11 月 取得年・月を和暦で明記(左揃え)。 | 高等学校教諭二級普通免許状 外国語(英語)取得(島根県教育委員会 平2 高二普第 100 号) 授与機関と登録番号を括弧付けで明記してください。 文学士の学位取得(福岡大学) ←授与機関を明記。 ↓登録番号があれば番号も明記。 修士(文学)の学位取得(福岡大学大学院 福岡大学 第 100 号) 学位名を記載し、学位認定大学名・学位記号を学位名の後に()付きで記載してください。教職免許は、免許認定都道府県名・免許記号を免許名の後に()付きで記載してください。ディグリーミールによる学位は記載不可。 | | |
| 職 歴 | | | |
| 年 月 日 | 事 項 | | |
| 平成 元 年 4 月 1 日 平成 2 年 7 月 1 日 平成 15 年 4 月 1 日 就任年・月・日を和暦で明記(左揃え)。 | ロンドン大学大学院文学研究科英文学専攻研究生(平成 2 年 3 月 31 日まで) 中島大学講師(「エッセイ・ライティング」担当)(平成 4 年 4 月 30 日まで) 福岡大学非常勤講師(「共通教育英語」担当)(現在に至る) 大学・学部・職位あるいは大学・大学院・研究科・職位、企業名・部局・職名を記入してください。各職の退職時の年月日をそれぞれの職名の後に()付きで(○年○月○日まで)と記入。現職は(現在に至る)と記入してください。 なお、担当科目・年月日を括弧付きで記載してください。 | | |
| 学会及び社会における活動等 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 平成 12 年 6 月 1 日 和暦で明記(左揃え)。 | 全国語学教育学会会員(現在に至る) ←いつまでか年月日を括弧付きで明記。 所属学会、所属学会での役職などを記載してください。退会・退任している場合はその後に()付きで退会・退任年を(○年○月まで)と記載し、現在も所属している場合は(現在に至る)と記載してください。 | | |
| 賞 罰 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 和暦で明記(左揃え)。 | なし 国際機関や国、地方公共団体などの機関や所属学会等からの賞などを記載してください。 | | |
| 上記のとおり相違ありません。 | | | |
| 令和○年 ○月○日 ↑記入日を記載すること。 | 氏 名 | | 印 印鑑必要。 |



教 育 業 績 書

記入日を記載すること。→ 令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

氏 名

印

| 教育上の能力に関する事項 | 年 月 | 概 要 |
|--|---|---|
| <p>1 教育方法の実践例</p> <p>(1) ペア・ワークとグループ・ワーク</p> <p style="color: red;">どのように授業を行なっているか、その特色を記載してください。ここに挙げた以外に、小テストの実施、ミニッツ・ペーパー、マルチメディア・インターネットの活用などが考えられると思いますが、自分が授業で行っている工夫なども記載可能です。</p> <p>(2) ジャーナル</p> <p style="color: red;">今までに実施した教育活動のうち、顕著な教育効果のあった取り組みや独創的な取り組み等について、この欄に項目名を記載し、概要欄にその内容を簡潔に記載する。</p> | <p>平成元年4月 (平成4年3月まで)</p> <p style="color: red;">↑ 年月を和暦で記載。括弧でいつまでかを明記。</p> <p>平成7年4月 (現在に至る)</p> | <p>なかなか積極的にコミュニケーションしようとする日本人学生に口を開かせるためにまず大事なことは環境づくりである。学生同士で助け合って問題をクリアさせることで安心して取り組み、間違えることを恐れない環境をつくる。学生たちにペア、あるいはグループを組ませ、一つの課題(会話練習、聴き取り、スピーチ、ディベート、ロールプレイなど)を与え、解決するように持ってゆく。その上で、指導を行い、レベルアップを図ってゆく。</p> <p>授業が終了すると、次の授業までにその回の授業を振り返ってジャーナル(日記、日誌)を書くよう指導している。このことで学生は授業で学んだことを反芻し、しっかりと身につけることができる。また、これは同時に自分の授業へのフィードバックにもなり、自分の授業の反省をこらもすることになる。</p> |
| <p>2 作成した教科書、教材</p> <p>Listen to Me (Level 1) Listen to Me Too (Level 2) Listen to Me (Level 3)</p> <p style="color: red;">(作成した教科書や教材について、この欄に項目名を記入し、概要欄にその内容を簡潔に記載する。)</p> | <p>平成15年4月 (現在に至る)</p> | <p>福岡大学で必修科目として英語を履修する学部生向けのテキストである。Listen to Me (Level 1)はベーシック・イングリッシュ・クラス、Listen to Me Too (Level 2)はインタミディエイト・イングリッシュ、Listen to Me (Level 3)はアドバンスト・イングリッシュに対応している。</p> |
| <p>3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価</p> <p>特になし</p> | | |
| <p>4 実務家教員についての特記事項</p> <p>特になし</p> | | |
| <p>5 その他</p> <p>特になし</p> | | |

研究業績書

記入日を記載すること。→ 令和 年 月 日

氏名 印

| 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要（共著者名等） |
|--|------------------------|--|---|---|
| 著書 1. Error Analysis 2. English Education | 単著 共著 | 平成 14 年 12 月 平成 14 年 12 月 | Oxford University Press Longman | 総頁数 123 頁 概要とあるが、内容のまとめではなく、ページ数や共著の場合の共同執筆者を書く。 総頁数 123 頁中、第 3 章 (20 頁) を担当 福大一郎、 <u>福大太郎</u> 、福大二郎 他 |
| 学術論文 1. Demonstratives in English 2. Cleft Sentences 博士の論文は、「○○○ (博士論文)」としてその旨を明記する。 修士論文は記載不可 | 単著 共著 | 平成 15 年 6 月 平成 22 年 12 月 (印刷中) まだ出ていない場合は印刷中や受理済みと括弧付きで記述。 | <u>English Linguistics</u> 第 3 巻 審査のある学会誌などは下線を引く。巻数や号数も明記。 ○○大学紀要第 35 巻第 1 号 | 総頁数 23 頁 総頁数 56 頁中、第 1 章 (20 頁) を担当 福大一郎、 <u>福大太郎</u> 、福大二郎 他 共著の場合は、共同執筆者を書き、自分の名前に下線を引く。また、自分のページを記載 |
| その他 学会発表 1. Cleft Sentences 2. Teaching of the Pronunciation 総説 1. Motivation and Attitude | 単独 共同 単著 | 平成 16 年 6 月 平成 17 年 3 月 平成 17 年 6 月 | 第○回日本英文学会全国大会 (○○大学) 第○回日本英文学会全国大会 (○○大学) 学会の開催回を書き、括弧 () で開催場所を記載。 ○○英文学 第 50 号 | 福大一郎、 <u>福大太郎</u> 、福大二郎 他 共同発表の場合は、共同発表者を書き、自分の名前に下線を引く。 総頁数 27 頁 |
| 「著書」、「学術論文」の順で記述。 「その他」として、学会発表、訳書 (翻訳・共訳)・総説・研究ノート、研修資料、報告書等を記載する。 | | | | |